

第 1 1 5 9 回教育委員会会議録

1 日 時 令和 5 年 5 月 2 9 日 (月) 午前 1 1 時 0 0 分～午前 1 1 時 5 9 分

2 場 所 教育委員会室
各委員はW e b 会議により出席

3 出席者 豊北教育長 南部委員 山本委員 森下委員 横井委員
松下学校教育監 村崎副部長
内田副部長(教育政策) 山本副部長(高校教育)
遠藤教職員課長 三崎義務教育課長 志尾生涯学習・文化財課長
内田保健体育課長 高原課長(学校体育)
北川教育総合研究所長 木村教育総合研究所副所長(研究・研修)

4 議 題

議題なし

5 審議事項

(1) 開会宣告 午前 1 1 時 0 0 分

(2) 会議録署名人の指名 森下委員 横井委員

(3) 議事要録

教育長 本日の協議報告事項の 2 から 7 については、事務執行上、公開が適当でないことから、非公開とする旨発議

—————当該議案を非公開と決する—————

◎協議・報告事項

(1) 令和 4 年度英語教育実施状況調査の結果について

教育長 新たに追加された、高校 3 年生の英語力 (英検 2 級相当) や高校英語担当教師の英語力 (英検 1 級相当) が、それぞれ全国 5 位、2 位という結果なので、本県よりも優れているところの取組みを調べ、また報告させていただきたい。

横井委員 英検を重視している県もあるのか。それとも、全国統一で C E F R に力を入れているのか。

義務教育課長 福井県は G T E C を採用しているが、英検や T O E I C 、 T O E F L などいろいろな検定試験があり、統一した指標がないため、文部科学省が国際基準である C E F R を提示した。しかし、C E F R や G T E C の点数を示しても

一般の方にわかりづらいということで、英検 2 級相当、3 級相当という言い方をしている。実際に、CEFR の指標では英検よりも GTEC の点数の方が評価されやすいところがあるため、令和元年から令和 3 年の大きな伸びに繋がった部分もある。

森下委員 中学校や高校でタブレットによって英語のコミュニケーション能力が高まっていると思うが、実際にタブレットを活用して練習する場合と対人的に練習する場合に違いはあるか。

義務教育課長 聞くことについては、デジタル教科書を活用することで、自宅でも自分のタブレットからネイティブな発音を聞けるため、タブレットの活用が大変有効であると考えている。例えば、英語が苦手な子は再生速度を遅くして聞き取りやすい速さで聞いたり、苦手なところを繰り返して聞くことができる。反対に、英語の得意な子は標準のスピードよりも少し早めに設定するなど、タブレットを有効に活用していると聞いている。

福井県では ALT を昔からたくさん配置しており、これまでは ALT のネイティブな発音を聞く場面を授業の中で多く取り入れていた。タブレットが入ったことにより、そこはある程度タブレットに任せて、自分が話した英語が直接外国人に通じる喜びや、発言した英文の間違いや改善点をその場で指摘してもらえると同時に、ALT を有効活用していくよう進めている。

山本委員 ALT の授業外での活用について教えていただきたい。英語クラブや英語ディベート部のようなものがあるが、ALT に手伝いをしてもらっていることはあるのか。

また、ALT の出身国は様々であり、英語の発音にばらつきがあると思う。タブレットの発音を聞いたことがないが、同じ言葉でもタブレットの発音と ALT の国による訛りが乖離していることがあると思う。そういった違いについて授業で話しているか。

義務教育課長 中学校では、国際交流部などで活用している例はあるが、そういった部活動があまり多くの学校にあるわけではないため、活用数は少ない。

それ以外に、コロナが落ち着いてきたので、給食の時間に ALT がいろいろな学級に入って食べながら話をしたり、休み時間や清掃の時間に ALT が子どもと一緒に活動して自由に話したりしている。

ALT にはそれぞれの訛りはあると思うが、それにより授業で不都合があるという報告は特に受けていない。

副部長 (高校教育) 高等学校では、ESS 部の指導や、スピーチコンテスト、英作文コンテストの際の指導などの例がある。

南部委員 さいたま市が中学校において良い成績を出しているというデータがあった。トップに甘んじることなく、今後の対策や研究を続けていただきたい。

教育長 さいたま市は、さいたま市長が英語教育に熱心で、小学 1 年生から英語の授業を実施している。まだ全国的にはそういった例があまりないので、福井県全体で取り入れるかどうかはなかなか難しい。

南部委員 他県もいろいろな施策で福井県を見習い、追いかけてくると思うので、甘んじることなく、施策を打っていただきたい。

教育長 調査結果の発表以降、福井県の英語力の高さの秘訣を聞きたいと4県ぐらいから問い合わせが来ている。

(2) 令和6年度福井県立学校入学者選抜について

(3) ICT教育サポートセンターについて

(4) 第72次福井県学力調査（SASA2023）の実施について

(5) 令和5年度生活や学習、学級に関する調査（質問調査）の実施について

(6) 文部科学大臣表彰の推薦について

(7) 小学校教育功労者に対する感謝状交付者の推薦について

教育長 本日の会議の終了を宣言

6 閉会宣言 午前11時59分